

プラタナスもみずみずしい緑の葉が日に日に大きくなっています。

中学校の皆さん、新しい学年学級のスタートは順調ですか？朝読書も始まり、充実した中学校生活になりそうですね。今年度も、図書室はお昼休みに開館しています。皆さんの知的好奇心を広げるためにも、学問を深める読書力を高めるためにもたくさんの本と出会ってほしいです。図書室には、きっと、あなたの読んでみたい本が見つかります。あなたの世界を広げるチャンスです。多くの皆さんが訪れてくれることを図書室は、待っています。

今回は、昨年度、四谷中学校図書室の本をたくさん借りた友達を紹介します。

学年ごとの本借りた人 ベスト 10

2年生 1年生のとき

1位	福嶋 かな生	57冊
2位	内藤 大揮	49
3位	上杉 千耶子	39
4位	村上 健太郎	38
5位	黒田 展弘	26
6位	岩月 聖菜	20
7位	早川 翔	18
8位	リカルチ マノエル	9
	齋藤 礼彩	9
10位	北 英将	8
	栗原 えみる	8

3年生 2年生のとき

1位	近藤 由美	32冊
2位	金澤 葉月	17
3位	山寄 ジョニー	13
4位	大多和 春樹	11
5位	上原 侑美香	9
6位	後藤 彩音	8
7位	中村 桃子	7
8位	渡邊 元弘	6
	門間 莉久絵	6
10位	石川 幸由	5

(敬称略)

図書室にぜひ足を運びましょう。図書室は、四谷中学校の生徒皆さんのものです。読書に親しむ機会をぜひ作ってください。

開室時間 お昼休み 当番の図書委員がいます

使い方 読書や調べもの・勉強など
本の貸し出し・返却

貸し出し 一人3冊 期間は間

借りたい本をもち、カウンターの図書委員に学年クラス名前を伝えます。図書委員は借りる人と本をバーコードでチェックします。

古典文学のおすすめ

古典というものはとっつきにくいものです。なかなか読んでみようとは思わないかもしれません。先日、知り合った外国の方が、日本の能のことよく知っていて、いろいろたずねられました。私は詳しいことは知りませんので、うまく答えることはできませんでした。外国の方が興味をもつ日本のことから、きっと不思議な魅力があるようです。古典文学に接することは、日本人の私たちのまだ知らない日本の良さを知るチャンスになるかもしれないと思います。もちろん、図書館ある古典文学は、わかりやすく現代語で書かれています。

昔から現代まで長い年月にわたり読み継がれてきた古典文学を紹介します。ぜひ、図書館に足を運び、触れてみてください。日本の魅力を再発見することになるでしょう。

枕草子

今から千年前の平安時代に清少納言によって書かれた随筆です。

歯切れのよい文体で、きらめくような知性感性が散りばめられています。

「春は、あけぼの・・・」は有名な出だしの文です。

今昔物語

今から900年近く前に出来上がった説話集です。「今は昔」で始まる物語が集められています。天竺（インド）震旦（中国）本朝（日本）の三つの地域の説話です。各説話の最後には今を生きるための知恵。教訓のようなメッセージが書かれています。

平家物語

「源氏物語」と並んで、日本の代表的な古典です。物語の大筋は平家一門と源氏一門の興亡を歴史を中心にしてたどったものです。単なる闘いの記録ではなく、その時代の若者の愛情や忠節など人間の情感が細やかに描かれているところが長く親しまれているのです。

東海道中膝栗毛

ここに登場するのは名コンビの弥次さん喜多さん。花のお江戸をあとにして東海道を西に進みます。二人が巻き起こす珍道中、時代を超えて愛読されています。膝栗毛とは、徒歩で旅をすることを言います。

四谷怪談

鶴屋南北という江戸時代の終わりのころ活躍した歌舞伎の脚本を書く人の作品です。お岩さんが亡霊となって復讐する物語は、日本の怪談話の最高傑作といわれ、舞台や映画で演じられています。その神社は、四谷左門町にあります。